

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18002	1	前期	必修	2	30
授業科目名 (英文)	哲学と宗教 (Philosophy and Religion)				
担当教員名	山本 伸裕				
授業の概要及び到達目標					
<p>【概 要】</p> <p>現代を生きる多くの日本人にとって、宗教というのは縁遠いものと思われているようである。だが、人間は「ホモ・レリギオス（宗教人）」とも定義されるように、人間が生きていくうえで欠かせないものとして捉えられてきたことは、否定できない事実であろう。文化的な垣根を越えて、人間存在を深く理解し、私たちが生きている世界のありようを知るためには、人びとが大事にしてきた宗教なるものに、あらためて目を向けてみると同時に、自らが無意識のうちに立脚している宗教性に目を向けてみる必要があるのではないか。</p> <p>この授業では、世界三大宗教など、宗教に関する常識的な教養を身につけると同時に、自らのうちにある宗教性について各自が考えることで、これからの人生を他者とともに豊かに生きていけるような心の糧を見出すことに努めてほしい。</p>					
準備学習等					
<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、その都度、オリジナルのレジュメ（プリント）を作成し、配布する。 ・シラバスは受講者の関心や理解度に応じて変更することもある。興味を持ったテーマがあれば、各自が自主的に考えを深めてもらいたい（1時間程度）。 ・随時、講義内で触れた基本的知識を問う小テストを実施するので、授業後、試験前には必ず配付資料に目を通し、内容を整理しておくこと（1時間程度）。 ・質問などがあれば、授業時間内でも授業後でも受け付けるので、積極的に発言してほしい。 ・授業内で、随時、宗教意識に対するアンケートを実施し、その集計結果を授業の内容に反映するので、問題意識をもって授業に臨んでほしい。 ・医療保健関係の仕事に携わる者として、様々角度から人間理解を深められるよう努めてもらいたい。 					
成績評価の方法	単位認定試験 60%、小テスト 40%				
テキスト	指定なし				
参考図書	山本伸裕『他力の思想～仏陀から植木等まで』（青灯社、2013年） 山本伸裕『清沢満之と日本近現代思想』（明石書店、2014年） 菅原伸郎『宗教の教科書12週』（トランスビュー、2005年） 勝田至『死者たちの中世』（吉川弘文館、2003年）				

備 考	<p>○卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図を確認のこと。</p> <p>○第6回目と第14回目に、それまでの授業の内容を問う小テストを行う。哲学や宗教についての常識的な知識は、教養として最低限身につけるよう努めてほしい。</p> <p>○質問などは授業終了後教室で受付ける。</p>
授 業 計 画	
<p>第1回：宗教とは何か① ～「宗教」と「カルト宗教」の違い、「宗教」と「哲学」の違いは何か。</p> <p>第2回：宗教とは何か② ～「宗教」と「倫理」はどのような関係にあるのか。</p> <p>第3回：世界の宗教① ～旧約聖書とユダヤ教。ユダヤ教の世界観や人間観から、西洋人の基本的なものの見方を考える。</p> <p>第4回：世界の宗教② ～新約聖書とキリスト教。イエスの生涯とユダヤ教徒の関係。キリスト教で説かれる「愛」とは何か。</p> <p>第5回：世界の宗教③ ～コーランとイスラム教。預言者ムハンマドの生涯とコーランの教え。</p> <p>第6回：聖都エルサレム ～祈りと平和の都・エルサレムを映像で巡る。《小テスト》</p> <p>第7回：儒教と道教 ～老子・荘子の思想、孔子・孟子の思想。中国における二つの思想的源流。</p> <p>第8回：仏教① ～インドの宗教・哲学と原始仏教。釈迦の生涯と思想。仏教誕生の時代背景。</p> <p>第9回：仏教② ～大乘仏教の発展と展開。大乘仏教と小乗（部派）仏教。「空」とは何か。</p> <p>第10回：仏教③ ～日本仏教がもつ性格。仏教の日本伝来と初期の受容。鎌倉仏教の祖師たちの思想。</p> <p>第11回：日本人の宗教心① ～日本の神話。『古事記』、『日本書紀』の世界。</p> <p>第12回：日本人の宗教心② ～日本人の生活と神道の思想。やまと言葉と宗教心。</p> <p>第13回：日本人の宗教心③ ～日本語表現に見られる日本人の宗教心。</p> <p>第14回：現代と宗教① ～宗教思想が抱える諸問題。人間が生きるうえで、宗教はいかなる意味をもつのか。 《小テスト》</p> <p>第15回：現代と宗教② ～宗教と迷信。各宗教における食のタブー。</p>	